

冒険しんぶん

2011/1/22

ピアノの発表会

第15版

発行・編集

ポコリーナ

ケンケン



今回は前回（8月）ベート

ーヴェンのソナタを弾かれたあややさんです。「ピアノはブランクがあった後再開した」とお聞きしたのですがとてもお上手な方なので、ピアノ歴など伺ってみました。

「ピアノはいつから始めましたか？」

結構遅くて、小学校3年生の終わりに始めたんです。きっかけですが、父が会社の上司の引っ越しを手伝った時に、その上司の方が「このピアノ要らないので誰かにあげる」と言ってくれて、その場にいた4人でジャンケンをして父が勝ち、そのまま家にピアノが来ました。その時はちょうど今までやってた習い事も終わった時期だったので何かスタートしたいと思っていました。

「面白いきっかけですね！ピアノを始める前は何をされていたのですか？」

フィギュアスケートです。祖母がアイスダンスを見に連れて行ってくれて、「やりたいでしょ、ね、やりたいでしょ」と言われて（笑）。

「私もフィギュアちょっとだけ習いました！でも当時は珍しかったのですか？」

そうですね、今ではフィギュアも有名になりましたけど、昔は伊藤みどりがオリンピックで銅メダルとるかからないかでしたものね。

東伏見で習っていましたよ。

「どんなレッスンでしたか？」

簡単なジャンプでループなんかもありました。もちろんアクセルとか難しい技ではないですよ。あれ以来スケート靴は履いていないんですけれども・・・。

やめてしまったのは、小さいころは喘息があって、母が体を心配してくれたのがありまして。

「そうだったのですね。スケート後のピアノはどんな先生に習いましたか？」

マンションに住んでいて、隣の部屋にピアノの先生が引っ越してきたんです。それで中学校までその方に習いました。

最初は弾くことだけ教えて頂いたのですが、そのうち「音楽の学校に行く準備をしましょうね」と何故か言われ、レッスンは週2回になり、1回がピアノ演奏、もう1回がソルフェージュなどの楽典を習いました。



あややさんの楽譜

「結構本格的にピアノに取り組みられたのですか？」

ちょっと集中してやった反動か、

中学校からはブラスバンド部（註；

吹奏楽部）に入りました。見た目も

いいフルートに憧れてたんですが

意外と肺活量が必要なので断念し

クラリネットを吹いていました。

「では中学ではピアノは触らず？」

そうですね、合唱コンクールで伴奏をする程度でした。

高校でもブラバンを続けまして、コンクールも毎年出ていました。あまり強い学校ではなかったのですが：

「それでいつからまたピアノに興味を持たれたのですか？」

高校の時の音楽の学期末のテストで、「どんな楽器（歌含む）でもいいので一曲クラスの皆の前で演奏を披露する」というのがありまして、それでショパンの革命を弾きました。カラオケを歌ってる人もいましたよ。

「面白いテストですね！」

そこで改めて「ピアノをやりたい」と思い進路を先生に相談したところ、「行きたい音大の夏期講習を受けて、そこで先生を見つけて習いなさい」と教えてくれました。その後実際に講習を受けて「先生に習いたいのですが」と言ったらレッスンを受けました。

「音大に向けてまっしぐらですね。」

その先生にはずっとショパンのエチュードとベートーヴェンのソナタを習っていました。で、受けようと思っていた学校の受験の科目がソナタ

＋エチュード＋バッハの3つジャン

ルなのですが、私の受験の年の課題曲が発表されて、先生が決めたのがモーツァルトのソナタだったのです。

「ベートーヴェンをずっと弾いてたんですよね？」

そうなんです。しかも2ページの難易度がそれほど高くない曲で、今から考えると先生には意図があつて渡してくれたのだとは思いますが、半年弾き込んで行く事を考えたらとてもではないですがやる気になれなくて（苦笑）。

「受験まであまり時間はなかったのでは？」

そんなこんなで、違う先生にお世話になることにして高校3年生の受験の年の11月から違う曲（ベートーヴェン作曲・テレゼ第一楽章）をやりましたので入試の前は本当に必死でした。毎日10時間ぐらい練習していました。朝7時に起きて支度して、9時からお昼はさんで夜の21時までのピアノ漬けです。人生でこんなに一所懸命頑張ったことはありませんでした。

「その努力の甲斐あつて、晴れて入学されたんですね。」

入ったら入ったでついていくのが大変でした。ちなみに短大はレッスンが中心だったので個人主義というか、あまり短大時代に友達をつくるという感覚はなかったですね。卒業後はピアノに全然触らなくなりました。

「なにかあつたのですか？」

短大時代に人前で演奏をしていたのですが、その時に生まれて初めて、緊張で頭が真っ白になり演奏が半分ぐらい止まったことがあるんです。今までそんなことがなかったので、止まった時どうすればいいかわからなかったんですね。

それで先生にもものすごく怒られて怖くなつてしまったものがあります。

「そうだったのですか・・・」

でもその先生は厳しかったです、育てようとしてくれてるのがわかりましたね。卒業後は全然ピアノと関係がない仕事で、しかも土日が休みではなかったのでピアノからは遠のいてしまいました。習い事をしようという気もあまりなかったです、次の職場に移った時はネイルの勉強とかもしてましたよ（笑）。

「ネイルアートって、ピアノやってたら絶対にできないですよね！」

その次の会社では定時に帰れる職場だったので、その時に「ピアノでもやるか」と思ったのが再開のきっかけです。会社の隣の建物でピアノ教室をやっていますそこで習いました。

「そうだったんですね。このコミュニティはどこでお知りになりましたか？」

お友達に紹介していただきました。所属しているピアノサークル以外にもこういうところがあるんだなって思いました。今は結構熱心にピアノに取り組まれているイメージです。

先生がその後変わったのですが、その先生と相性がよくてレッスンへのモチベーションが上がっているのがあります。今までは曲をもらって、暗譜したら来てねーみたいな感じだったのですが、今は最初の方から結構丁寧にもらっています。ピアノ以外にも共通の話題があつたりして、私はチワワと熱帯魚を飼っているのですが先生も同じなんですよ。

「先生もチワワと熱帯魚飼ってるんですか？」

そうなんです。しかもお話してみるとウチのチワワと先生のチワワが生年月日が全く同じだったり、熱帯魚が繁殖して増えたら交換したりしますよー。

「いい先生を見つけれられてよかったですね！」

今、12月に開催される研究会（演奏会に近い）に向けて練習しています。一人30〜40分ぐらい弾くので大変ですが・・・。ピアノはこれからもマイペースに続けていきたいですね。



編集後記

演奏をお聴きしていると「あんなに華奢なのにどうしてこんなしっかりした音が出るんだろう？」と思ってしまうのですが、お話をお聴きして、しっかりとピアノのテクニクを習得されていてそれで堂々とした音が出るんだなーと納得でした。あややさん、お忙しいところどうもありがとうございました！